

令和6年度まちづくり座談会会議録（鷹巣1・2・3）

開催日時	令和6年8月20日（火）午後7時00分～午後8時40分
開催場所	鷹巣公民館
出席者	町長 庄司 中 副町長 高橋 裕 総務課長 土屋 弘行 産業振興課農林主幹 森 光弥 まちづくり推進課長 大山 和彦 建設課長 大沼進悟 教育文化課長 小林 基流
出席者	名

議事概要

1. 開会	土屋総務課長の進行で開会する。（午後7時00分）
2. 副町長自己紹介	高橋副町長が挨拶を行う。
3. 町長説明	庄司町長が説明を行う。
4. 懇談	
総務課長	では、ここから本題ということで、皆さまからご意見、ご提言などをいただければというふうに思います。発言される際にはお名前をおっしゃっていただいてから発言をお願いしたいと思いますので、よろしく願いいたします。発言は座ったままで結構ですので、こちら側も大変失礼ですが、座った形でお答えをさせていただきますので、その点ご了承ください。
参加者	信号から北の方の流雪溝の工事するのか。いつまでたっても始まらないじゃないですか。
建設課長	昨年もこの場を借りて関係者の方に説明会をさせていただきましたが、今年度工事を行う予定です。ただ、県の方の、県道の部分がなかなかちょっと進まなくて、県の方はやっぱり予算がつかないとか、そういった事情もあるようなんですけども、町は町で予定どおり進める予定でありますので、なかなか気をもませて申し訳ないんですが、予定どおり進める予定でありますので、ご理解をお願いいたします。
参加者	いつ完成するのか。
建設課長	完成には3年ぐらいかかる予定です。なかなかすぐすぐいなくて申し訳ないんですけど。他にも水道とか下水の施設とか様々あって、なかなか進まないというのは申し訳ないです。
参加者	町県民税の納付書なんですけど、バーコードを載せることはできないのか。全国的についていないとは思いますが、できるとありがたい。去年も何回か役場に行ったとき、言ったのですが、難しいとのことでした。大石田町だけじゃないんで、村山市とかもなっていませんので、県内なのかな。

総務課長	私、総務課なんですが、税金の担当は町民税務課の方になります。町民税の方もバーコードのようなものを導入できるかどうかということについては、すぐにお答えすることができませんので、そういう要望があったということ、町民税務課の方に伝えたいと思います。
参加者	他市町村では、大学とかを入れて雪をエネルギーに変えとか取り組みをしていると思うんですけど、大石田町では、そういうのには力を入れてやる予定はないのか。
まちづくり推進課長	昨年度、克雪プロジェクトということで、虹のプラザの方で雪を電気に変える研究をなされている、えのき準教授という方の講演を町でも開催したところであります。この方、昨年度は北海道のニセコで実験をされています。今年度につきましては、先ほどありましたとおり、一応、山形県では西川町と協定を結びまして、廃校を利用して、その実験を今年度は西川町で行うということで、お話を伺っているところでございます。せっかく講演会等を大石田で開催していただいた縁もございまして、今後実施していただければと考えております。
町長	若手町村長との話ですけれども、西川町長とは就任してから、役場の職員同士の交流も3回勉強会を今しております、個人的にも菅野町長とはいろんな連絡を取りながら、お互いの話を聞きながらやっているところです。いろいろな国の交付金はあるんですけども、菅野町長さんはそれを交付する側の財務省におられた方で、すごく作文能力が高くてですね、いろいろ情報とかアドバイスを受けながら、町としてもいろいろな交付金を取れるような方策を、今進めているような形ですので、おかげさまでそういった勉強をお互い相互にさせていただいています。ありがとうございます。
参加者	鷹巣3の長瀬整備工場とスリッパ工場間の流雪溝の施設がある方のところに道路があるんですけども、あそこは町が管理しているんですか。流雪溝の建物の方。あそこは、尾花沢ですか。
建設課長	尾花沢ではないですね。大石田の方です。
参加者	県道なのに、草が生い茂っていて、大石田町から芦沢までの間の県道が草が伸びていて、流雪溝の土地を譲ってもらったら、管理する人が草刈って綺麗にしてくれるんじゃないかなと思っていた。
建設課長	県道の部分と町道の部分と両方に使う施設ですので、管理不足で申し訳ないのですが、県の方と調整しながら、そういったことがないように努めていきます。情報提供ありがとうございます。
参加者	除雪機の購入補助があるが、お年寄りが増えてくるが、体力が無くてできないとか、そういう者に対する補助というのはあるのでしょうか。

総務課長	<p>町支援事業パンフレットの10ページの方に高齢者支援というところがあると思います。「一人暮らし高齢者等除雪費助成金支給事業」として、概要としましては65歳以上の高齢者世帯に対して、このような高齢者に対する支援は現在あります。今のところはそれ以上のものはないのですが。</p>
参加者	<p>自分は40代なんですけども、やっぱりみんな年を重ねていくとやっぱり動けなくなっていくわけですね。それで前に聞いたのが、鈴木憲和さんの話を聞いたら、やっぱりこのまま30年くらい行くと、もうどんどん3,000人くらいしかいない町になり、その中でみんな助け合いができるのかなという思いがあって、ちょっと不安になっているんですよ。やっぱり自分なんか今のうちからと思って除雪機だったりそういった機械とか買ったり、今やりくりしている。</p> <p>私の場合だと隣の家と前の家とって全部朝5時くらいに、ホイールローダーで掃いて、出勤するんですけども。こういう感じでできる人がいればいいんですけども、できない人の場合って、今からやっぱり考えないと間に合わないと思うんですよ。どこの市町村でも問題になっていると思うんですけど。</p>
まちづくり推進課長	<p>今現在、ボランティアというわけではないんですけど、有償ボランティアという形で、町の方でもNPO法人に補助や運営費を出しながら、1時間あたり5,000円ということで大型のハンドガイドの除雪機をもって、家の玄関先であったり、軒下の除雪などの請け負いは実際行っています。ただ、昨年度はちょっと雪が少なかったんで、全体としても30数件しか出動は無かったんですけども、そういった取組みの方もさせていただいております。</p>
町長	<p>「おてつたび」というのがあるんですね。例えば、都会にいる方が半分旅行というか、例えば、大石田に数日間いて、給料をもらって、除雪のお手伝いというか、除雪をして、その貰ったお給料でちょっと大石田だったり、銀山を旅するみたいな「おてつたび」というサイトがあるんですけども、そこにも今度募集を掛けようとして今進めております。</p>
参加者	<p>やっぱり外からの人を取り込まなければなんともならないじゃないですか。やっぱりうちの嫁もやっぱり埼玉県なんで、外から見て、もううちの嫁として来たときに、ノートに書いて、大石田はこれが良くてこれが悪くてというのを全部書いたのを私読ませてもらって、それでやっぱり自分もそういうのに目を向けていかなきゃならないんですけど。</p>
参加者	<p>消防についてですけども、私が入った15年前ほどとは状況が一変しております。家庭からは非難され、なぜ消防に行くんだと言われ、消防に無理やり入ってやっているような状況で、実際に災害現場に来る人は、私のような自営業の方だけが行くような状況です。この消防をどう改革するかというと、やっぱり地域にいる、元消防団をやっていた方たちにもっと協力してもらうような体制作りをしていかなければ、消防の未来はないんじゃないかなというふうに思います。私もあと3年くらいで辞めれますので、本当にありがたいなというくらいの気持ちです。これから</p>

	<p>の次の世代にその気持ちを同じように背負わせるのかというと、背負わせたく無いというふうに思っています。</p> <p>次に、除雪に関してですけど、一人暮らしの世帯だけではなくて、二人暮らしでも除雪できない世帯というのも結構多く存在しているんですね。そこに対してもしっかりと支援をしていただければ、私みたいな民間でやっている人が除雪に行っているようになるのではないかと思います。あとはですね、他の地域はなんか、除雪を自由に、私のような人間が入ってやっているという情報があるのですが、大石田町では組合があって、除雪の体制とかがもう決まっているような状況です。民間企業がどんどん入っていかなければ、除雪はする人がいなくなると思う。最後にですけれども、町長が自由に町政をできているのかが、私は一番気になります。よろしくをお願いします。</p>
まちづくり推進課長	<p>まず消防の状況としましては、やはりだんだん地域の人数が少なくなっており、各個人の負担が増えているというのも私の方でも把握してございます。先ほど地域にいる元消防団員の方を活用するというお話がありました。現在制度上では機能別消防団員という形で、元消防団員に限ったことではございませんが、そういった新たに消防団に入団しないまでも消防団の元OBの方を活用した制度はあるものの運用には至っていないというのが正直なところなんです。こちらの運用についても、制度を作ってからもう2年近く経っているのが実情でございますので、早期に運用できるように検討を加えてまいりたいと思います。</p>
町長	<p>二人暮らしの世帯への除雪に対しても、やはり考えていかなければいけないと思っています。私の周りでも二人暮らしで高齢者の方がおられます。私自身も雪を掃いてあげたりしたりしておりました。そういったことも、やはり今後考えていきたいと思っています。ありがとうございます。</p>
建設課長	<p>3つ目の除雪と民間企業についてということで、多分道路除雪のことかと思えます。現在は町全体を面倒見てもらうということで、道路維持組合の方に依頼しているような形です。今後については、検討させていただいて、どのようなことができるか考えさせてください。ありがとうございます。</p>
町長	<p>半年ぐらいですが、まず一番大事なのは対話だと思まして、先ほどもお話ししましたが、若手職員とのミーティング会をしまして、ほぼほぼ全員と会話をするような形になりました。いろいろな職員からのいろんな考えとか、想いとかも今聞いてですね、自分の町政につなげていきたいなと思っております。あと、やっぱり民間から入ったので、なかなか問題があるんだなという思いと、それをどういうふうに改革していくかとか、もっとスムーズにできないかなとか、いろいろ葛藤しながら今進めています、少しずつ前に進んでいきたいと思っております。</p>
参加者	<p>3年前に自分が退団するときに、機能別消防団を作れという話をしました。以前ですと、消防団員というのは、農家の人とか、自営業の人とか、商店を営んでいる人とか、在宅している人が多かったんですけども、現在は、サラリーマンが主に</p>

なってしまうと、そこに夜勤とか会社に行くと、そういったときに災害が発生すると、どうしても地元にいる人だけが大変になっているので、できれば機能別を作って、退団した人とかね、高齢の方には無理だと思うんですけども、できるだけ若い人を訓練なしで使えるようにということで置き土産したという記憶があります。できるだけ早くスタートしてくれれば現役の団員の方は、負担が軽くなると思う。機能別については、大規模災害とか必要と認められたときに出動を要請するという話をしたところでありませう。

先日25日の大雨の件なんですけれども、野尻川からだいぶ出水しました。朝農家の方が回ってた時に、出水寸前であったと。あの辺が切れられると、田んぼの方に土砂が大量に流入する。野尻川橋よりも東側で出水すれば住宅地に土砂が流入する。注意して見ていたが、水位は11時ぐらいが一番出た。その後、一回引いて、もう一回出てきた。たまたま寺内の方で決壊したということで、多分その時に水位下がったが、かなり危ない状況でした。令和2年の時も出水した時に、たまたまその時、町長が巡視に来られた時に、野尻川の砂利を取ってほしいという要望をした。すぐ、県のほうで動いてくれて、きれいにしたんですけども、それから5、6年経って、また今堆積している土砂の量がかなり増えてきました。その土砂も、1回したからいいのでは無く、5年とか6年とか4年とか、そういうスパンで取り除いていただければ、県の方に要望をお願いしたい。あと、地元の消防団の要請がないと、動けないので。その辺のパトロール、前には夜通し警戒ということをしたと思います。今は携帯とかなんかで、最上川だろうが、野尻川だろうが、水位は見るができると思う。上級幹部は最上川の内水処理で手一杯だと思う。上級幹部は動かなくてもいいので、自分の所属の分団長を通して、巡視を徹底させてほしいと伝えた。そういうことは自主防災組織の方からも要望していいのか。それともあくまで上級幹部の命令となるのか。

まちづくり推進課長

機能別については、制度はなっているんですけど、運用に至っていないということで、特に今年の春、田沢で発生した火災については、元消防団の方で、消火栓を活用して、初期消火をしていただいたという事例もあるので、早急に運用を進めたいと思っております。また、野尻川の増水時、特に野尻川については、尾花沢の南沢から山に降った時の水が、1時間か1時間半くらいで鷹巣の方まで水が降りてくるということで、早急な対応が必要だというのは、こちらでも認識しております。先月25日については、上級幹部の方については、丹生川の方でも危険水位を超えたということがありまして、鷹巣が所属している3分団について、この避難誘導、こちらの方で、ちょっと幹部の方が動けなかった、というのが事実でございます。自主防災の方で、地元の部長さんなどをお願いをして、パトロールをお願いできないかということではありますが、事後で消防団長の了解などを取る形で、地元の消防団に要望していただき、団長でありましたり、事務局にご連絡をいただければ対応可能だと考えております。確かに、他の対応で野尻川の警戒活動がおろそかになってしまったというのは、こちらの方としても大変申し訳ございません。ありがとうございました。

建設課長

野尻川の砂利、川床の河道掘削なり、支障木の撤去だと思います。町内の県管理

	<p>のほかの河川も、かなり川に砂利が堆積しているという状況ですので、この辺も併せて、県の方にはお話ししてあるのですが、さらに要望をさせていただきたいと思 います。ありがとうございます。</p>
<p>参加者</p>	<p>野尻川の右岸が一番低いんですね。あそこが一番決壊しやすいところなんで、今年、 作り田橋まで舗装がなると思うんです。その時に盛土してもらいたいなと思ってい るんですけども、要望の方お願いします。去年の河川巡視の時、県にも要望をした んですけども、何とも言わないので。実際、今回の25日のあれにも、あそこら辺 がギリギリの状態だったから、どうせ舗装するのであれば、盛土してちょっと高く してもらいたいなど。</p>
<p>建設課長</p>	<p>はい、分かりました。漏水も確認したんですか。</p>
<p>参加者</p>	<p>漏水はちょっとした。あれは、課長の方に言ってるので、橋の10mくらい下流 の方でちょっと漏水してるっていうのは。</p>
<p>まちづく り推進課 長</p>	<p>確認します。右岸側ですね。</p>
<p>参加者</p>	<p>防災放送について電話で聞いてって書いてあるんだけど、防災放送があったかな いかも分からない。地区総会でも防災無線の意味無いって言ったんだけど。大沼さ さんのところは、防災無線が聞こえなくて、水害の時にも水が上がっていた。</p>
<p>参加者</p>	<p>大沼さんの家のところは流雪溝を下げたままにしている。本当は流雪溝を使わなく なったら上げればいいんだけどね。上げる高さをもっと上げていかなかったなと思 って。</p>
<p>参加者</p>	<p>要するに、大沼さんの家の辺りは、よく聞こえないのよ。ここは鳴っているけど、 全く聞こえないらしい。</p>
<p>参加者</p>	<p>町の方でだんだん家庭用の防災無線をつけるように、何とか考えていってほしい。</p>
<p>総務課長</p>	<p>防災関係でのご意見ですけれども、本数を増やしても、音と音がぶつかって聞き づらいということもあって、難しい。一応測って、聞こえるように設置したつもり ですが、実際に聞こえないというのは現実としてあると思います。ただ、なかなか つけるというのはやっぱり、はっきり言ってちょっと難しい現状にあるんですが。 ですので、別の方法ということで、聞くためのラジオを取り付けるとか、そうい う方向で考えられないのかということ、検討しているところでございます。ただ、 いつできるのかについてはこの場では言えないですが。</p>
<p>参加者</p>	<p>ところで、あの6時のチャイムは、何のチャイムですか。眠たくなるような音に</p>

参加者	<p>なった。</p> <p>そんな感じじゃないですよ。私は、すごくよく聞こえますけど、バイオリンなんかいいなって言う人たちもいます。</p>
総務課長	<p>町としましては、芸術文化の振興というようなことで一応、バイオリンということで入れたというふうな経緯もございますので、ちょっとしばらくはそのままで行かせていただければなというふうに思っております。ただ、もっと様々な意見が出てくればですね、今後アンケートを取ったりとかも考えてまいりたいと思います。</p>
参加者	<p>ちょっと町長にお尋ねしたいんですけども、なったばかりで大変だろうと思うんですけども、一番の問題は人口減少と高齢化です。まず、町から人が出ていかないうような施策をしてほしい。一番の問題はやっぱり雪。冬は心配することないというくらい予算を組んで施策をしてほしい。一人暮らしの高齢者の施策もあるみたいだけど、必ずしも業者に依頼しなくても、となりの家の人とかでもいいと思う。お金をかけてでもそういう施策をお願いしたい。</p> <p>もう一点。去年、議会があったんですけど、大石田町では女性の議員さんはいない。これは町長さんの責任というわけじゃないのだけれど、町内には優秀な女性の方がいっぱいいると思う。なんで立候補しないのかと思う。町でも女性課長がいらない。女性ならではの視点もあると思うので、活性化してほしいと思う。</p>
町長	<p>雪対策は、これが絶対だというのが多分無いので、いろいろやっぱり考えながら仮説を立て、実行して、また仮説を立てながらしていかないといけないと思ったりします。あと、心の問題というかですね、一つ僕は町長になる前にいろんな経営者の方々の話ですけど、子どもの頃から子どもに対して「お前帰ってこんたっていい」とか、「お前継がんとっていい」とか言ってしまうと、「俺帰ってこんたっていいんだな」とか、「帰ってきちゃだめなんだな」とか、「継がんとっていいんだな」というふうに思って、例えば親の仕事に興味が無くなったり、ふるさとに対して全然興味持たなくなることがあるから、ぜひ子どもには「帰ってこなくていい」など言わない方が良くないかと思いましたが。ふるさとが好きになれるような話をしたり、前向きな発言を大人からするといいいんじゃないかなという話はよく聞いています。</p> <p>僕も子どもに対しては、やっぱり雪かきもさせたり、仕事も手伝いさせて、自分が感じたままで帰ってきて住むのもいいし、いろんな判断材料を作ってもらいたいなと思って今、子育てしているんですけども、やはり大石田町全体で子どもたちとしてはできれば残ってほしい。または大学で出て帰ってきて、そこから通えるような状況というか、町でのサポートとかも考えながら、全体で子育てできるようになればいいと思うんですけども、そこから出て帰ってくる、または住み続けてもらえるような町づくりができればいいなと思っています。ありがとうございます。女性議員に関しては、やはりぜひ勧めてもらいながら、4年後に向けて、やはり出ていただければいいかなとはもちろん思っております。ありがとうございます。</p>
参加者	<p>2年ちょっとぐらい前かな、区長さんにもちょっと相談したことがあったんです</p>

	<p>けど、ちょうど街灯が昼と夜ついているところがある。区長さんが真面目で日中全部調べてきたけどな、それあの当時で10個ぐらいあったかな、2年ちょっとぐらいになるんですよ。できればセンサーかなんか買えるんだったら、やってもらった方がいいのかなと思って。</p>
まちづくり推進課長	<p>すみません。帰りに場所だけ確認させていただきたい。</p>
参加者	<p>いや、町内いたるところについてるところあるよ。他もある。</p>
まちづくり推進課長	<p>日中もついているってことは、センサーが故障してると思われるので、地区の管理のものもあるので確認して町のものであれば早急に対応させていただきます。</p>
参加者	<p>大石田ではいろいろなイベントあるんだけど、年配者も多いんで、うちの母親にも言ったけど、やっぱり行かないんですよ。町民が参加できるようなイベントをやるといいんじゃないかと思う。私の会社だと、5年に1回旅行があるんですけども、その時に、みんなで体重減らしましょうとなって、それを全社員で、その体重を減らすという目的でやって、達成したら旅行へとか、そういうのをやったんですよ。様々そういう企画があったんで、それを当てはめて、なんか町民全員ができるような、なんかイベントだったら、みんな行ってやれるんじゃないかな、というふうに思います。特定の人だけ、若い人だけ集まるやつじゃなくて、なんかみんな参加できるイベントがあると良いと思っています。</p>
参加者	<p>スポーツクラブは結構教室をやってますからね、参加すればいいのではないのでしょうか。</p>
参加者	<p>自分にメリットがないとやるきっかけにならないと思う。体重一番減らした人に賞品とか。そういうメリットがあるとやりやすいのかなと思った。町民全員でやってるんだ、それが話題になって、例えば、それで他の町から注目されてっていうのもあるんじゃないかなと思って。そういうふうにやってみたら効果があるんじゃないでしょうか。</p>
参加者	<p>実際に行ってきたんですけど、駅の上の方に行ったんですけども、ブロックが落ちそうになっているところがあったんです。それで、旦那と二人でブロックを踏んだら危ないよねと話していましたので。</p>
建設課長	<p>確認します。</p>
参加者	<p>大石田町は、何十年前から財政難と言われてきているわけですけども、これからちょうど言うように10年、20年後の世代に橋を架けるということを言っている</p>

	<p>んですけども、例えば、横山のふたば横山保育園さんが3月から一つになると、そうすると、やっぱり民間と公立の町でやっている保育園とかあって、どっちを継続させるといった話になったときに、民間を優先させるのか、公立の方を優先させるのかという中で、小学校もあと3年後に統合するというのもあるんですけども、建物がいっぱいあるのに活用ができないのかとか、その中でそれを建てるにあたって解体しなければいけない学校というのが多分出てくると思うんですよ。それを有効活用というのが、尾花沢の玉野地区だと思いますが、鈴木憲和さんとコラボをやって、違う活用でやれないかということで、以前いったことがあるがそれで終わってしまった。人口が25年後に3,000人くらいになって、仮に今やっている事業の今後の事業計画と今後の事業計画の中で、地方交付税は人口によって算定されてくるじゃないですか、町の税収額は下がるんだけど、学校を建てて、その借金が何年後に返されるのか。これから人口減少に向かうと、毎年、やっぱり個人負担が税金でも何でも高くなってくるんじゃないですか。また、農地とか、空き家とか、先ほど町長さんが来てどうするかというようなことも考えているんでしょうけれども、まあ半年ぐらいしか経たないけれども、それがやっぱり選挙前の公約で、もう一回見直していただいて、何年計画のやつだけのリストだけじゃなくて、自分が意気込んだ事業の部分も見たい。</p>
町長	<p>保育園に関しては、統合の可能性ももちろん視野に入れながら、これから検討していかなければならないと思います。もちろん令和9年度に小学校は統合になりますので、こうした大石田保育園とふたば保育園の在り方というのも、この数年で検討していきたいと思っています。廃校の利用に関しては、教育文化課から説明させていただきます。</p>
教育文化課長	<p>小学校現在3つあって、新しいものを建てて、その3つが空くわけですけども、こちらについては、まず解体ということは考えていません。有効に活用する手段ということは今検討している段階ですので、まだこういうふうにするというふうなはっきりした回答はできないですけども、無駄に使うことなく、有効に活用できるように、まず優先に、町の方で公的な使い方ができるかどうかということを検討しています。その次に、民間等でありますけれども公的な、例えば児童館であったり、ソーレのような福祉施設だったりというふうな活用ができないか。それでもまだ活用が難しければ、民間の営利企業としての活用ができないかというふうなところで、3段階でまず今検討を進めているところですので、こちらの方につきましては、令和9年度、新しい学校が開校までにある程度の見通しをつけたいと考えています。</p>
参加者	<p>それと治水定住に係る移転の大体の人数というのはどのくらいが把握していますか。</p>
建設課長	<p>町全体で30世帯程度を今のところ予定しています。</p>
参加者	<p>前だと70世帯くらいとの話だったんですけども。</p>

建設課長	空き家とかも結構ありますので。
参加者	2人ずつとして60人くらいですかね。
建設課長	そうですね。
町長	代替地も、もちろん今、様々なところを用意しておりますし、あと、横山のふたば保育園のまづ脇の町有地のところに宅地造成を今進めております。さらに、希望があればさらに宅地造成を広げていこうと考えております。
参加者	福祉会館の辺りは。
町長	あそこはですね、今度畑線という道路がかかってしまう。そこに今度は、今ある除雪機とかの倉庫とかもあったりですね。あと、その前の商工会側は崖になっていますので、そこもいろいろ考えながら今進めております。ありがとうございます。
総務課長	あと、お金の関係だけという、人口が減ればですね、やはり普通交付税の算定基礎からして全体的には多分減ってくるかと思えますし、国の方の交付税の予算総額によっても違ってきますので、その点は一概に何とも言えないところはあります。
参加者	一人何円と決まっているんですね。だから今6,000人いて、単純に人口が減ったら30億から20億とか減ってその予算でしか事業は出来ないということになってしまうのか。それを若い世代に支えろと言っても町から出ていきたくるのは、そのとおりだと思う。
総務課長	一般財源として入ってくるお金はやっぱり決まってくる。なので国庫補助とかそういうものをどのくらい持ってこられるか。
町長	国からの助成金や交付金で、補助率が高かったり、起債が効くとか、国の割合が高かったり、県の割合が高いものを調べながら、勉強しながら、獲得して、県に行ったり、国に直接行って、しっかり要望して、3,000人でも持続可能な町をちゃんと作っていかなくちゃいけないなと思います。ありがとうございます。
参加者	人数が少ないというのを言うんですけど、草津温泉とかもあそこ人口6,000人とかじゃないですか。すごい少ないけど、草津温泉って観光で成り立っているところで、今本当に若者がどんどんどんどん来ているから、インスタで勝手にアップしてくれて、宣伝して、お客さんもいっぱい来て、あそこも空き家がいっぱいあったのが、今空き家が1軒もないくらいなので、ベンチャーがいっぱい入ってきているっていうのを聞くと、人口が少なくても収入はどんどん入ってくる。助成金を求めるんじゃなくて、そっちの観光でやっているところもあるし、さっき言ったようにニセコも同じ状態。多分ニセコの方が4,000人くらいしかいないと思うんだけど、あそこはもう海外が大きなホテルとか建ててくれて、本当にセレブたちがい

	<p>っばい来てくれて、この間テレビで見たら、宿泊税というのを取るようにして、そしたら数千万円が2億円になった。その2億円を使って無料バスを走らせて、住民たちが動けるようになるというか、観光客も動けるとか。本当にやりようはいろいろあるんだなというのがあるので、やっぱり誘致なんだなというのがすごいと思って。私は絶対無理だとは思いますが、この町に新しい人を呼ぶことはもう、都会にみんな行きたいので、ここに残りたいという人たちって本当に難しいと思うし、入ってくるというのもすごく大変だと思うので、絶対無理だと思うけど、お年寄りたちにパラダイスみたいな10棟、20棟という施設をいっぱい作って誘致して、企業に作らせて、その人たちは多分もう外には出れないので、雪なんで絶対気にしないから、雪を気にしない人たちをどんどん移住させておいて、これから年寄りすごく増えるから、誰かが亡くなれば、すぐ埋まるような。そういう町ってないと思うので、それにはいっぱい問題があって、多分働く人がいない、介護施設で働く介護士さんの取り合いだと思うので。そういう問題も出てくるけど、人がやらないようなものをして、大石田の町の人から取るんじゃない方法で、他にもやり取りできたらいいなって思って。これは本当に素人考えなので、絶対無理だと思うけど、そういう感じでできたら、そういう施設ができたなら、家族も帰る場所ができるので、家を出てもそこでお世話になれるっていうのはすごく優遇されるからいいなっていう夢はあります。国からもらうっていうんじゃない取り方もいいと思うので、どこに誘致するか。</p>
町長	<p>はい、ありがとうございます。インバウンドのお客さんが、先ほど最初に喋ったんですけれども、今、山形駅に次いで多いと言われていています。今年の冬なんですけれども、役場の駐車場前に、僕らから見たら本当に汚い雪の山をバックに記念撮影を撮る外国人の方も結構おりました。やはり、みんなが害だと思っている、嫌なものだと思っている雪も、彼ら、彼女から見れば、結構いいなって思うものかもしれないですし、やはり、その雪も、いろいろな活用の方法では、観光資源になるかなとは思っていますし、あと、空き家対策もやはり課題がいっぱいあるので、どうやって、これからリノベーションして活用していくかということも検討していかなければならないし、外から来る人間に、町にお金を落とさせていただけるような仕組み作りというか、観光体制も整えていきたいなと思いますので、ご意見ありがとうございます。</p>
参加者	<p>他の地区でちなみに若い方って参加しているんですか。やっぱり若い方の意見を取り込んでいかないと、私は変わらないと思います。私たちより下の世代の意見は、もっと良い考えを持っているので、その人たちの意見をくみ取っていけば良くなると思います。</p>
総務課長	<p>本日はご意見、また新しいご提言などをいただきましたので、それらをですね、今後の町づくりの方に活かしてまいりたいというふうに思います。本日は皆さん誠にありがとうございました。</p>

6. 閉 会 （午後8時40分）